

原発からの撤退を決断し エネルギー政策の転換を 求める署名

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

請願主旨

福島第一原子力発電所の事故災害は、世界に放射能の恐怖と汚染を広げ、福島県民の生活を奪いました。こうした事態を招いた歴代の政府、電力会社、原発を推進してきた「原発利益共同体」の責任は極めて重大です。原発は、いったん事故が起これば「制御」が効かず、使用済み核廃棄物も処分不能な危険きわまりない技術です。安全な原子力は存在しません。ましてや世界有数の地震・津波国である日本では、なおさらです。

今こそ、日本政府は、原子力発電依存からの撤退(脱原発)を決断し、国内の全ての原子力発電所を計画的に廃止し、日本のエネルギー政策を転換すべきです。

請願項目

1. 福島原子力発電所の事故を一刻も早く収束させ、福島第一原発・第二原発ともに廃炉にして下さい。
2. 原子力発電所の新規計画を中止し、既存の原子力発電所は、計画的に廃炉にして下さい。
3. 原子力発電依存からの撤退を決断し、日本のエネルギー政策の転換を図って下さい。

氏 名	住 所

この署名は、国会に提出する以外に使用しません。

【取り扱い団体】 全日本民主医療機関連合会

〒113-8465 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7階 Tel:03-5842-6451 Fax:03-5842-6460